

News Release

2018年5月17日

日立オートモティブシステムズ株式会社

「自動車技術展:人とするまでのテクノロジー展 2018 横浜」において 自動運転システム技術をはじめとするモビリティテクノロジーを紹介



ブース外観イメージ

日立オートモティブシステムズ株式会社(社長執行役員&CEO:ブリス・コッホノ以下、日立オートモティブシステムズ)は、5月23日(水)から25日(金)までパシフィコ横浜にて開催される、「自動車技術展:人とするまでのテクノロジー展 2018 横浜」(主催:公益社団法人自動車技術会)に日立グループ会社のクラリオン株式会社(執行役社長兼CEO:川端 敦ノ以下、クラリオン)と共同で出展します(ブース番号:50)。次世代車両の実現に必要とされる自動運転や電動化などの技術を中心に、日立グループの幅広いモビリティテクノロジー、製品・システムを紹介します。

今回の展示会では、ZEV 規制などの対応でニーズが高まる「電動化システム」や、カメラやレーダーなどの周辺認識センサーを組み合わせる360度センシング技術と、それらの検知情報を基に車両制御を行う安全制御技術で実現する「自動運転システム」をショーケースカーに搭載し、実機と映像によるバーチャルな演出でご紹介します。また、自動運転のユースケースのひとつとして、「駐車場の安全性・利便性」の向上をめざし、現在開発中のオートバレーパーキングをご紹介します。また、シミュレーション・解析技術の活用、ならびに各種コンポーネントの継続的な進化を通じて、熱効率向上、クリーンで環境負荷を低減する「燃費向上・高効率エンジンシステム」を展示します。

クラリオンコーナーでは、一度の検索で出発から目的地到着・帰宅まで、駐車後の徒歩移動も誘導する「Door to Door ナビゲーション」を展示します。スマートフォンで検索した目的地情報をカーナビゲーションとシームレスに共有でき、カーナビゲーションでのルート案内や駐車後の徒歩ルートを、スマートフォンにも表示させることが可能なナビゲーションで、多彩な情報と連携しドライバーの一日をまるごとサポートします。

日立オートモティブシステムズは、事故撲滅、運転者の負荷軽減や交通渋滞の解消などスマートなモビリティ社会の実現に向け、安全・快適で高効率な自動運転システム・車両運動のすべてを統合制御するシステムの開発を進めています。また、ゼロ・エミッションビークル規制への対応などの電動化の進展に対しても、環境性能と走行性能の最大化を通じ、よりよいクルマ社会の実現に貢献していきます。

■会社概要

日立オートモティブシステムズ株式会社

本 社： 東京都千代田区大手町二丁目 2 番 1 号 新大手町ビル

事業内容： 自動車部品および産業用機械器具・システムの開発、製造、販売およびサービス

以 上